

「サラリーマン帝王学のすすめ」 その後のエピソード

株式会社ロジタント 代表取締役 吉田祐起 著

2002(平成14)年9月

「**サラリーマン帝王学のすすめ**」に関連して、実に愉快的な出来事があります。「週刊ポスト」誌(2002.6.21.号)で初めて知ったことですが、「**サラリーマン大脱走のすすめ**」(関根 進氏著・日経BP社刊)という書籍があるのです。

「サラリーマン のすすめ」ということから、両者のタイトルは極似しているのです! 「帝王学」と「大脱走」の差です。してやったり! とばかり、ニンマリ! ってところが私の心境なのです。

同誌は5回シリーズで同書の紹介を発端に、「サラリーマンよ! 50歳で会社から『大脱走』しよう」「『新・脱サラ』研究」など、と題した興味ある実際例を掲載しています。“「リストラ」「中年いじめ」に泣き寝入りするな!”といったキャッチフレーズでサラリーマン諸氏に多くの体験例などをもとに勇気を与えているのです。

最終回は「サラリーマン大脱走のすすめ」の著者・関根 進さん(ライフスタイル評論家)と堀 紘一さん(ドリームインキュベータ社長)の対談です。

最終回でニンマリして読んだ言葉は堀 紘一社長さんの弁です。曰く、「**サラリーマン大脱走は大いに結構。だけど、やっぱり脱走する前に勉強しろといたいですね。“脱走”の前は監獄にいるわけでしょう? 監獄って割合時間があるじゃない(笑い)**」と。

「脱走する前に勉強しろ」とは、私が主張する「在職中に帝王学を学べ」に通じると確信するのです。「監獄にいる」は「会社に在職中」と置き換えましょう。在職中に思い切り勉強し、人脈も広げるなど帝王学を学ぶ機会はいくらでもある! と言いたいのです。

同じ「脱サラ」でも、「大脱走」はネガティブ(失礼!?)、「帝王学」はポジティブ(積極的)という意味で、ヨシダオリジナルのキーワード「サラリーマン帝王学のすすめ」に軍パイ! と自画自賛するオッチョコチョイの満70歳青年が口ずさむひとり言です。八八
以上